



キーワード かまくらばくふ 鎌倉幕府

4

源頼朝が鎌倉（今の神奈川県）ではじめた武士の政権です。頼朝は1185年に平家を滅ぼし、同じ年に守護・地頭を全国に「接地」朝廷に認められました。1192年には頼朝は「征夷大將軍」に任命されました。

※以前は1192年を鎌倉幕府の成立としていました。1185年を鎌倉幕府成立の年としています。

①漢字のまちがい
× 接地 ○ 設置

キーワード しゅご じとう 守護・地頭

5

「守護」…国単位で1人ずつ任命された軍事指揮官・行政官のことです。

国を守るために今でいう警察のような仕事をしていました。

「地頭」…各荘園・公領に設置され、年貢を徴収する仕事をしていました。

地頭は武士であったため、争いごとを暴力的に解決しようとする

②太字になっていない 多く農民から恐れられていました。このようなことから「泣く子と地頭には勝てぬ」ということわざもあるほどです。

キーワード ごおん ほうこう 御恩と奉公

6

「御恩」…将軍に仕える武士を「御家人」と呼び、将軍は御家人の領地を

③2行目がそろっていない 与えたりします。その場合は新しい領地をあた

「奉公」…御恩を受けた御家人は、将軍に忠誠を尽くし、戦い時には一族を率いて将軍のために戦いました。

④長体になっている

このような土地を仲立ちにした主従関係を「封建制度」といいます。

キーワード しっけんせいじ 執権政治

7

北条氏が「執権」として、鎌倉幕府の実権をにぎって行った政治のことです。

元々執権は鎌倉幕府で将軍を補佐し、政治を行う職でしたが、北条氏が代々受け継ぎ源氏の将軍が3代で絶えた後、京都で

⑥句読点「。」が行の始まりにある (行頭禁則)

⑤漢字が統一されていない
× 事 ○ こと

コラム

テストにも出る!? 平家物語

平家物語

祇園精舎の鐘の聲、

諸行無常の響きあり。

沙羅双樹の花の色、

盛者必衰の理をあらはす。

おごれる人も久しからず、

ただ春の夜の夢のごとし。

猛き者もつひにはほろびぬ。

ひとへに風の前の塵に同じ。



⑦画像が粗い

平家物語の冒頭文は「平家物語は平氏と源氏との戦い」が多いのではないのでしょうか？

平家物語は平氏と源氏との戦いです。

⑧読点が統一されていない
× 「,」 ○ 「、」

日本を支配していた平家一族の栄えていた平安時代から、勢力が大きくなってきた源氏との戦いを経、平氏が滅び鎌倉時代へと移行する様子が描かれています。

作者は不明ですが、琵琶法師などによって語り継がれてきました。

有名な倶利伽羅峠の戦いや壇ノ浦の戦いなど源平合戦が主な内容ですが、妖怪退治などのエピソードなども含まれており、冒頭文の暗記だけではもったいない内容となっていますので、時間があるときに一度全部読んでみてはいかがでしょうか？